

3. 医療

(1) 医療ニーズへの対応

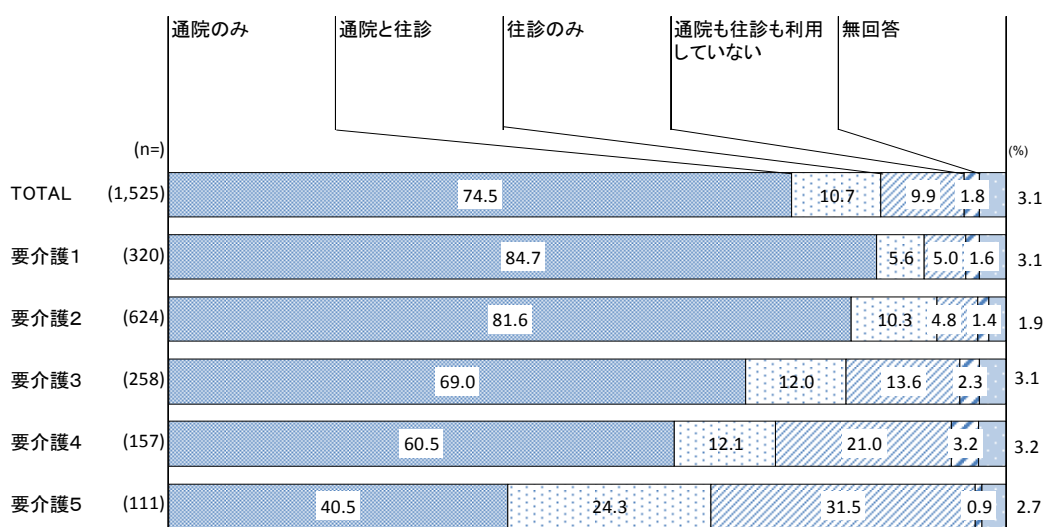
① 通院・往診状況

要介護者の通院・往診の状況は、「通院のみ」が最も多く、74.5%と4人のうち3人を占める割合となっている。

要介護度別では、要介護1・2の人は「通院と往診」及び「往診のみ」の割合が低いのに対し、要介護5では、「通院と往診」は24.3%、「往診のみ」が31.5%と高くなっている。

図表3(1)① 通院・往診状況（要介護・問20）

【要介護度別】



(無回答 n=55 は非表示)

② 通院の診療科目

要介護者の通院の診療科目では、「内科」が70.0%と最も多く、次いで「整形外科」(30.6%)、「眼科」(24.0%)となっている。

図表3(1)② 通院の診療科目（複数回答、要介護・問20-2）

【要介護度別】

	TOTAL (n=1299)	要介護度別(無回答n=42非表示)				
		要介護1 (n=289)	要介護2 (n=573)	要介護3 (n=209)	要介護4 (n=114)	要介護5 (n=72)
内科	70.0	72.7	69.5	71.3	71.1	55.6
整形外科	30.6	36.0	31.1	28.7	28.1	16.7
眼科	24.0	28.0	25.0	22.0	19.3	18.1
歯科	19.4	23.5	20.4	16.7	12.3	15.3
神経内科	16.4	17.6	15.5	18.7	15.8	16.7
循環器科	16.0	14.2	19.4	12.9	12.3	12.5
皮膚科	12.0	9.3	12.0	16.3	13.2	13.9
外科	6.6	5.9	7.7	7.2	4.4	4.2
耳鼻いんこう科	5.5	6.6	5.9	3.8	3.5	6.9
その他	19.1	13.8	17.5	24.4	21.9	34.7
無回答	3.0	3.1	2.6	2.9	3.5	4.2

③ 往診の内容

要介護者の往診内容では、「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が29.0%で最も多く、次いで「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」（28.3%）となっている。

要介護度別で見ると、要介護1では「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」（32.4%）や「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」（29.4%）が高かったのに対し、要介護5では、「歯科診療（入れ歯、口腔ケア等）」（35.5%）や「経管栄養（胃ろう等）」（19.4%）、「じょくそう（床ずれ）の処置」、「飲み込みの問題」（ともに17.7%）が多くなっている。

図表3(1)③ 往診内容（複数回答、要介護・問20-4）

【要介護度別】

	TOTAL (n=314)	要介護度別（無回答n=6非表示）				
		要介護1 (n=34)	要介護2 (n=94)	要介護3 (n=66)	要介護4 (n=52)	要介護5 (n=62)
痛みに対する管理(注射、湿布、薬等)	29.0	32.4	37.2	34.8	28.8	11.3
歯科診療(入れ歯、口腔ケア等)	28.3	29.4	24.5	25.8	28.8	35.5
じょくそう(床ずれ)の処置	8.3	5.9	2.1	3.0	17.3	17.7
飲み込みの問題	8.0	2.9	6.4	3.0	9.6	17.7
導尿の管理(カテーテル、自己)	5.7	0.0	3.2	1.5	9.6	14.5
点滴	5.1	0.0	7.4	4.5	5.8	4.8
経管栄養(胃ろう等)	5.1	0.0	1.1	0.0	5.8	19.4
酸素療法	4.1	2.9	5.3	3.0	5.8	3.2
気管切開の処置	3.2	0.0	2.1	1.5	1.9	9.7
人工呼吸器	1.6	0.0	0.0	1.5	0.0	6.5
インスリン注射	1.0	0.0	1.1	1.5	0.0	1.6
その他	36.6	41.2	27.7	43.9	42.3	37.1
無回答	13.4	14.7	13.8	13.6	9.6	11.3

(2) 医療と介護の連携

① 医療機関等からの情報収集

ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集については、「主治医の意見書を入手」(92.1%)が最も多く、次いで「医療相談室MSWを通じた情報収集等」(69.9%)、「往診・受診・通院・入院時に同行」(59.7%)となっている。

図表3(2)① ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集
(複数回答、ケアマネジャー・問33)

【勤務形態別】

(%)	TOTAL (n=1929)	勤務形態別(無回答n=18非表示)			
		常勤・専従 (n=983)	常勤・兼務 (n=575)	非常勤・専従 (n=279)	非常勤・兼務 (n=74)
主治医の意見書を入手	92.1	93.6	91.7	91.8	90.5
医療相談室MSWを通じた情報収集等	69.9	72.2	72.9	62.7	51.4
往診・受診・通院・入院時に同行	59.7	59.6	67.5	52.0	37.8
カンファレンス	52.0	53.5	53.0	47.7	43.2
家族を通じて医師に指示を確認	51.9	51.2	57.2	45.9	52.7
入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して 問合せ・連絡・情報収集	34.9	33.9	37.4	35.8	33.8
意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接 問合せ・連絡・情報収集	20.5	18.9	25.4	16.8	18.9
意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電 話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	9.7	9.3	12.2	7.5	8.1
その他	1.7	1.5	2.1	1.4	1.4
特に行っていない	0.6	0.5	0.5	1.4	0.0
無回答	1.4	1.1	0.7	0.4	2.7

【業務兼務内容別】

※勤務形態が「常勤・兼務」及び「非常勤・兼務」の方のみの結果のため、TOTAL値が上記と異なる。

(%)	TOTAL (n=649)	業務兼務内容別(無回答n=6非表示)			
		管理業務 (n=516)	医療系サービス (n=50)	介護サービス (n=84)	相談業務 (n=67)
主治医の意見書を入手	91.5	92.6	80.0	85.7	88.1
医療相談室MSWを通じた情報収集等	70.4	74.8	58.0	53.6	59.7
往診・受診・通院・入院時に同行	64.1	69.2	50.0	52.4	56.7
家族を通じて医師に指示を確認	56.7	58.1	48.0	51.2	59.7
カンファレンス	51.9	53.9	50.0	44.0	52.2
入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して 問合せ・連絡・情報収集	37.0	37.6	60.0	29.8	34.3
意見書を記載した主治医に対して電話 ・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	24.7	25.0	38.0	20.2	22.4
意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電 話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	11.7	12.4	16.0	8.3	17.9
その他	2.0	2.3	2.0	1.2	1.5
特に行っていない	0.5	0.2	0.0	2.4	0.0
無回答	0.9	0.8	2.0	2.4	0.0

② 医療機関との連携で困ること

ケアマネジャーが医療機関との連携で困ることについては、「サービス担当者会議の日程調整が難しい」(43.2%)が最も多く、次いで「医師といつ連絡を取ればよいか分からない」(43.0%)、「退院までの準備期間が短い」(34.5%)となっている。

図表3(2)② 医療機関との連携で困ること(複数回答、ケアマネジャー・問35)

【勤務形態別】

(%)	TOTAL (n=1929)	勤務形態別(無回答n=18非表示)			
		常勤・専従 (n=983)	常勤・兼務 (n=575)	非常勤・専従 (n=279)	非常勤・兼務 (n=74)
サービス担当者会議の日程調整が難しい	43.2	42.0	47.5	40.1	43.2
医師といつ連絡を取ればよいか分からない	43.0	45.7	37.4	44.4	48.6
退院までの準備期間が短い	34.5	36.6	33.9	33.7	18.9
主治医意見書の到着が遅い	23.5	25.0	21.2	24.7	21.6
書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる	18.8	20.0	20.0	14.0	13.5
医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	17.0	17.9	19.0	12.5	6.8
個人情報保護で医療的な情報が取りにくい	17.0	16.8	18.3	16.5	13.5
専門用語が多く理解が困難	15.7	17.4	13.4	15.4	14.9
退院してからの連絡が取りにくい	15.0	15.6	15.8	11.1	18.9
医療機関側の介護保険の説明が遅い	8.4	8.4	10.4	6.1	2.7
その他	6.1	5.8	6.8	6.1	5.4
困ったことはない	6.3	5.8	7.5	5.7	6.8
無回答	3.9	3.6	3.5	2.9	4.1

【業務兼務内容別】

※勤務形態が「常勤・兼務」及び「非常勤・兼務」の方のみの結果のため、TOTAL値が上記と異なる。

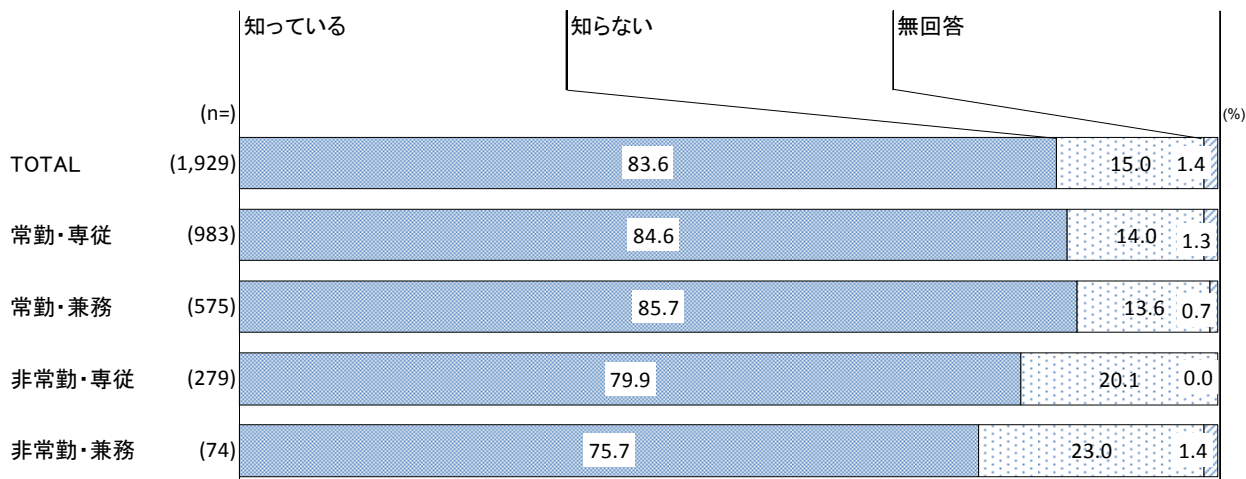
(%)	TOTAL (n=649)	業務兼務内容別(無回答n=6非表示)			
		管理業務 (n=516)	医療系サービス (n=50)	介護サービス (n=84)	相談業務 (n=67)
サービス担当者会議の日程調整が難しい	47.0	48.4	40.0	39.3	37.3
医師といつ連絡を取ればよいか分からない	38.7	36.0	24.0	53.6	38.8
退院までの準備期間が短い	32.2	34.1	32.0	25.0	31.3
主治医意見書の到着が遅い	21.3	21.7	22.0	19.0	19.4
書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる	19.3	20.2	20.0	8.3	13.4
個人情報保護で医療的な情報が取りにくい	17.7	19.6	8.0	10.7	17.9
医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	17.6	19.8	12.0	13.1	13.4
退院してからの連絡が取りにくい	16.2	15.7	20.0	17.9	16.4
専門用語が多く理解が困難	13.6	13.4	4.0	20.2	16.4
医療機関側の介護保険の説明が遅い	9.6	10.9	10.0	1.2	6.0
その他	6.6	6.4	6.0	6.0	11.9
困ったことはない	7.4	7.6	14.0	2.4	11.9
無回答	3.5	3.3	2.0	6.0	3.0

③ 在宅医療連携拠点の認知・利用状況

ケアマネジャーの在宅医療連携拠点の認知度については、「知っている」は 83.6%、「知らない」は 15.0%となっている。

図表 3 (2) ③-1 在宅医療連携拠点の認知度 (ケアマネジャー・問 36)

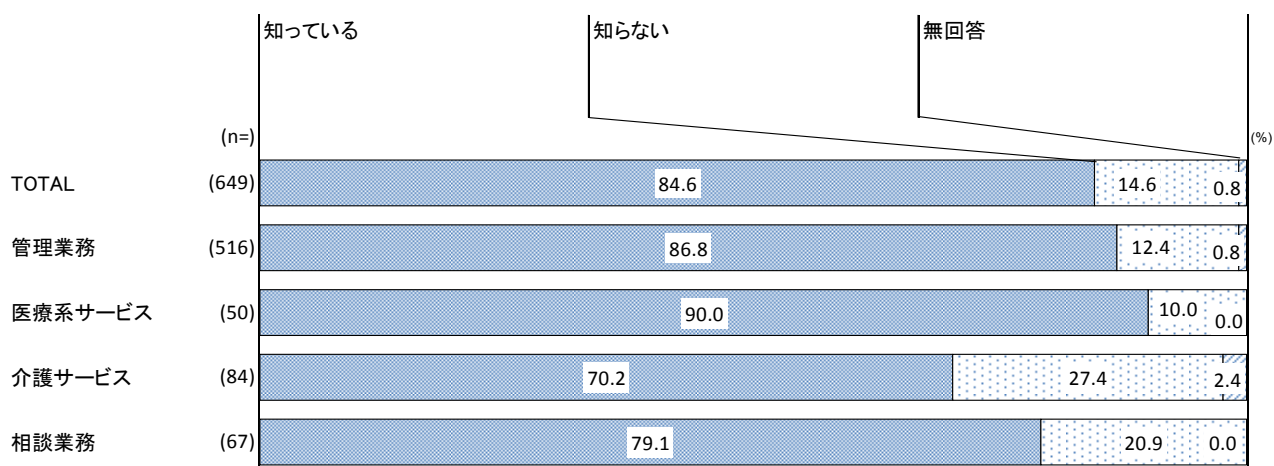
【勤務形態別】



(無回答 n=18 は非表示)

【業務兼務内容別】

※勤務形態が「常勤・兼務」及び「非常勤・兼務」の方のみの結果のため、TOTAL 値が上記と異なる。

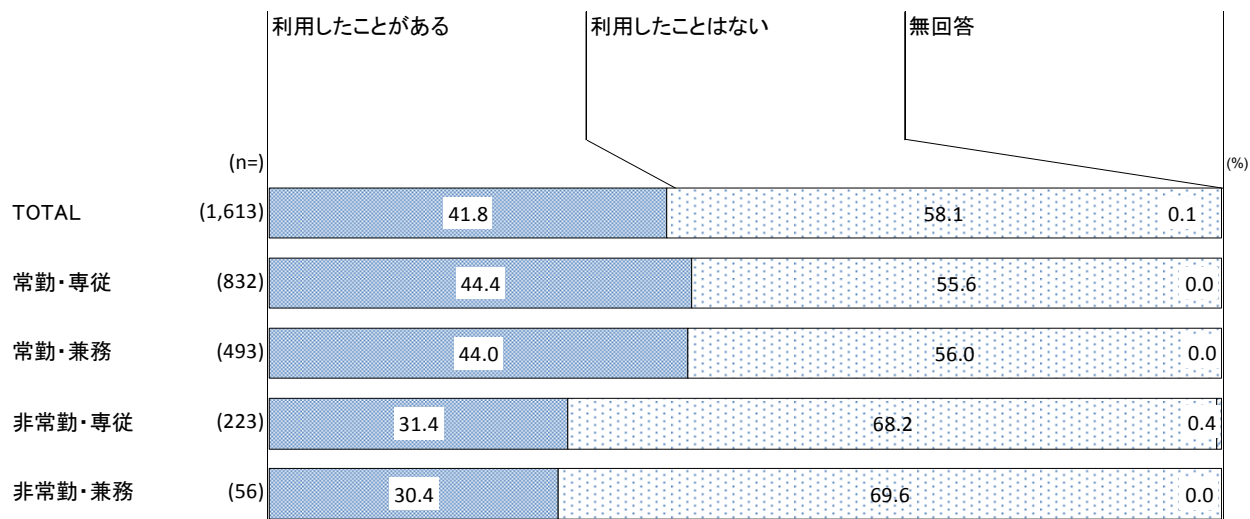


(無回答 n=6 は非表示)

ケアマネジャーの在宅医療連携拠点の利用経験については、「利用したことはない」が 58.1%となっており、「利用したことがある」(41.8%)を16ポイント上回っている。

図表 3 (2) ③-2 在宅医療連携拠点の利用経験 (ケアマネジャー・問 36-1)

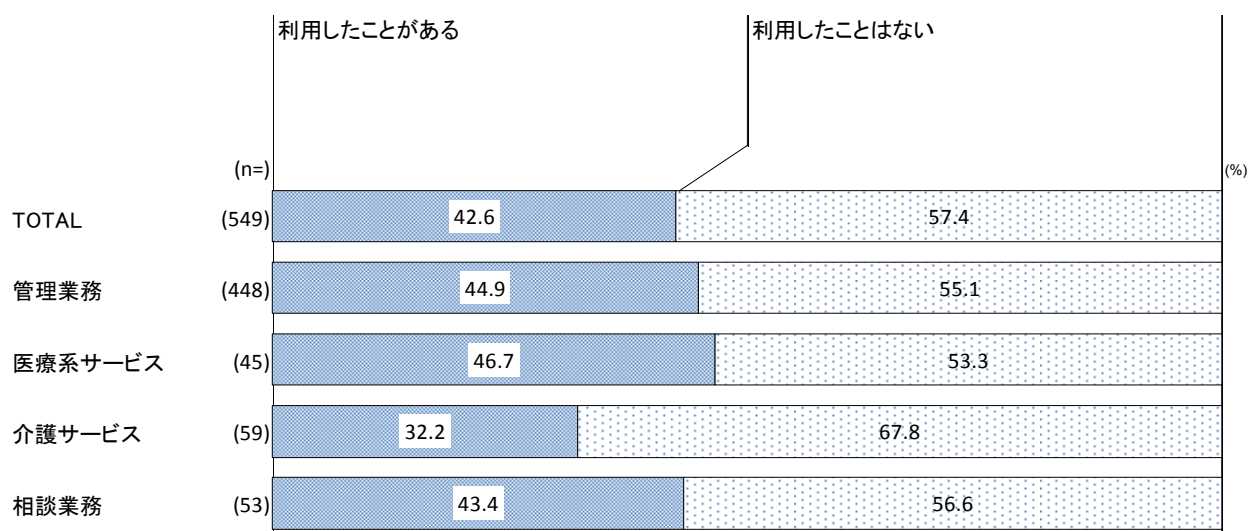
【勤務形態別】



(無回答 n=9 は非表示)

【業務兼務内容別】

※勤務形態が「常勤・兼務」及び「非常勤・兼務」の方のみの結果のため、TOTAL 値が上記と異なる。



(無回答 n=3 は非表示)

ケアマネジャーの在宅医療連携拠点の未利用の理由については、「必要性を感じたことがない」が60.4%で最も多く、次いで「利用の仕方が分からない」(18.6%)となっている。

図表3(2)③-3 在宅医療連携拠点 未利用の理由(複数回答、ケアマネジャー・問36-2)

【勤務形態別】

(%)	TOTAL (n=937)	勤務形態別(無回答n=7非表示)			
		常勤・専従 (n=463)	常勤・兼務 (n=276)	非常勤・専従 (n=152)	非常勤・兼務 (n=39)
必要性を感じたことがない	60.4	60.0	63.8	55.3	61.5
利用の仕方が分からない	18.6	18.4	17.0	21.1	20.5
地域包括支援センターとの違いが分からない	6.8	6.0	8.3	5.9	10.3
その他	17.9	18.6	16.7	21.1	7.7
無回答	3.4	3.7	2.5	3.3	7.7

【業務兼務内容別】

※勤務形態が「常勤・兼務」及び「非常勤・兼務」の方のみの結果のため、TOTAL値が上記と異なる。

(%)	TOTAL (n=315)	業務兼務内容別(無回答n=3非表示)			
		管理業務 (n=247)	医療系サービス (n=24)	介護サービス (n=40)	相談業務 (n=30)
必要性を感じたことがない	63.5	64.0	66.7	52.5	76.7
利用の仕方が分からない	17.5	17.0	0.0	27.5	16.7
地域包括支援センターとの違いが分からない	8.6	7.3	16.7	7.5	10.0
その他	15.6	16.6	12.5	17.5	10.0
無回答	3.2	2.0	4.2	5.0	6.7

④ 介護サービス事業所と医療機関の連携状況

介護サービス事業所の医療機関との連携状況については、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」(42.5%)が最も多く、次いで「緊急時の対応」(35.4%)、「往診をしてくれる医師・医療機関がある」(32.1%)となっている。

図表3(2)④ 医療機関との連携状況（複数回答、介護事業所・問16）

(%)	TOTAL (n=1700)
医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている	42.5
緊急時の対応	35.4
往診をしてくれる医師・医療機関がある	32.1
職員研修	16.9
急変時の受入を依頼できる病院を確保している	13.3
提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	12.5
在宅医療連携拠点に相談している	7.9
その他	1.9
自らもしくは法人として医療機関を経営しており、連携の問題はない	2.6
連携していない	8.6
特にない	13.8
無回答	3.8

(3) 在宅での延命・看取りについて

延命・看取り等についての意思表示について、高齢者一般では「特にしていない」(50.0%)が最も多く、次いで「家族と話し合っている」(33.9%)となっている。

「特にしていない」は、年齢別では前期高齢者(65~74歳)で54.1%、世帯状況別では夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上で66.3%と割合が高い。

図表3(3)-1 延命・看取り等についての意思表示(複数回答、高齢者一般・問44)

【年齢別】

	TOTAL (n=2108)	年齢別(無回答n=4非表示)	
		前期高齢者 (65~74歳) (n=1127)	後期高齢者 (75歳以上) (n=977)
特にしていない	50.0	54.1	45.0
家族と話し合っている	33.9	33.2	34.9
かかりつけ医に希望を伝えている	2.6	1.5	3.8
リビングウィルを作成している	3.5	2.2	4.9
エンディングノートを作成している	6.2	4.4	8.2
遺言状を作成している	4.0	2.4	5.8
その他	1.6	1.0	2.4
無回答	8.5	7.5	9.7

【介護状況別】

	TOTAL (n=2108)	介護状況別(無回答n=117非表示)		
		現在介護を している (n=174)	現在は介護してい ないが、今後介護 する立場になる 可能性が高い (n=892)	現在介護をしていな いし、今後も介護す る立場になる可能 性はほとんどない (n=925)
特にしていない	50.0	43.7	50.6	51.7
家族と話し合っている	33.9	39.1	35.7	31.1
かかりつけ医に希望を伝えている	2.6	3.4	2.2	2.2
リビングウィルを作成している	3.5	1.1	2.9	4.9
エンディングノートを作成している	6.2	4.6	5.4	7.5
遺言状を作成している	4.0	2.3	2.8	5.3
その他	1.6	2.9	1.2	1.5
無回答	8.5	10.9	8.2	7.8

【世帯状況別】

	TOTAL (n=2108)	世帯状況別(無回答n=8非表示)					
		ひとり暮らし (n=348)	夫婦二人暮らしで 二人とも65歳以上 (n=887)	夫婦二人暮らしで 一人だけが65歳 以上 (n=98)	子や孫などと同居 (n=689)	前掲(1~4)以外 で全員が65歳 以上 (n=37)	その他 (n=41)
特にしていない	50.0	52.3	47.7	66.3	49.1	48.6	58.5
家族と話し合っている	33.9	24.1	37.8	27.6	35.6	35.1	24.4
かかりつけ医に希望を伝えている	2.6	2.9	3.2	0.0	2.0	0.0	4.9
リビングウィルを作成している	3.5	7.2	2.8	0.0	3.2	0.0	2.4
エンディングノートを作成している	6.2	9.8	6.3	3.1	4.5	10.8	4.9
遺言状を作成している	4.0	7.5	2.9	1.0	4.1	2.7	4.9
その他	1.6	2.0	1.9	0.0	1.3	2.7	0.0
無回答	8.5	9.5	7.6	6.1	9.1	8.1	12.2

延命・看取り等についての意思表示について一般 55～64 歳では、「特にしていない」(65.0%) が最も多く、高齢者一般と比べると 15 ポイント高くなっている。次いで「家族と話し合っている」(28.3%) となっている。

「特にしていない」は、性別・年齢別では男性・55～59 歳で 8 割弱 (77.2%)、世帯状況別では「ひとり暮らし」で 8 割 (80.3%) と高い割合となっている。

図表 3 (3)-2 延命・看取り等についての意思表示 (複数回答、一般 55～64 歳・問 43)

【性別・年齢別】

性別・年齢別 (性別無回答n=1、男性年齢無回答n=4、女性年齢無回答n=3非表示)	TOTAL (n=1345)	性別・年齢別 (性別無回答n=1、男性年齢無回答n=4、女性年齢無回答n=3非表示)					
		男性計 (n=650)	男性・ 55～59歳 (n=294)	男性・ 60～64歳 (n=352)	女性計 (n=694)	女性・ 55～59歳 (n=317)	女性・ 60～64歳 (n=374)
特にしていない	65.0	72.5	77.2	68.8	58.1	63.1	53.7
家族と話し合っている	28.3	21.2	17.3	24.1	34.7	30.9	38.0
かかりつけ医に希望を伝えている	0.4	0.6	0.7	0.6	0.3	0.3	0.3
リビングウィルを作成している	1.4	1.1	0.3	1.4	1.7	1.6	1.9
エンディングノートを作成している	3.5	1.5	0.3	2.3	5.3	4.1	6.4
遺言状を作成している	1.6	2.0	1.7	2.3	1.2	0.9	1.3
その他	1.7	1.1	1.4	0.9	2.2	2.2	2.1
無回答	1.9	2.6	2.0	3.1	1.2	1.3	1.1

【介護状況別】

介護状況別 (無回答n=11非表示)	TOTAL (n=1345)	介護状況別 (無回答n=11非表示)		
		現在介護をして いる (n=180)	現在は介護して いないが、今後 介護する立場に なる可能性が高 い (n=666)	現在介護をして いないし、今後 介護する立場に なる可能性はほ とんどない (n=488)
特にしていない	65.0	56.7	67.9	64.5
家族と話し合っている	28.3	35.6	26.6	27.7
かかりつけ医に希望を伝えている	0.4	0.6	0.5	0.4
リビングウィルを作成している	1.4	2.2	1.2	1.4
エンディングノートを作成している	3.5	4.4	2.3	4.7
遺言状を作成している	1.6	1.1	1.1	2.3
その他	1.7	2.8	1.8	1.2
無回答	1.9	1.1	1.7	2.3

【世帯状況別】

世帯状況別 (無回答n=2非表示)	TOTAL (n=1345)	世帯状況別 (無回答n=2非表示)					
		ひとり暮らし (n=142)	夫婦二人暮 らし (n=462)	子や孫など 同居 (n=539)	親と同居 (n=86)	親及び子な ど同居 (n=87)	その他 (n=27)
特にしていない	65.0	80.3	57.1	66.4	73.3	69.0	51.9
家族と話し合っている	28.3	9.9	35.7	27.6	18.6	28.7	37.0
かかりつけ医に希望を伝えている	0.4	0.0	0.4	0.4	2.3	0.0	0.0
リビングウィルを作成している	1.4	1.4	1.5	1.1	2.3	1.1	3.7
エンディングノートを作成している	3.5	4.9	4.3	3.3	2.3	0.0	0.0
遺言状を作成している	1.6	2.8	2.6	0.6	0.0	1.1	3.7
その他	1.7	0.7	1.5	1.9	2.3	0.0	11.1
無回答	1.9	2.8	1.7	1.9	1.2	2.3	0.0

(4) 医療系サービス利用

要介護者の傷病の状況については、「高血圧症」(43.6%)が最も多く、次いで「認知症」(28.0%)、「腰痛症」(25.8%)、「お口の病気(むし歯、歯周病、入れ歯など)」(25.4%)となっている。

図表3(4)-1 要介護者の傷病の状況(要介護・問14)

【世帯状況別】

		(%)	(n=)	高血圧症	脂質異常症(高コレステロール血症、中性脂肪など)	糖尿病	動脈硬化症	腰痛症	関節症(膝・股関節など)	リウマチ	骨粗しょう症	脳血管疾患(脳出血、脳梗塞など)	狭心症・心筋梗塞	目の病気(白内障など)	消化器の病気(胃炎、肝炎など)	泌尿器の病気(腎臓病、前立腺肥大など)	がん	呼吸器の病気(ぜん息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)など)	耳や鼻の病気(難聴など)	お口の病気(むし歯、歯周病、入れ歯など)	骨折・外傷	認知症	心の病気	その他	特になし	無回答
世帯構成別	TOTAL	43.6	1,525	11.1	17.5	5.6	25.8	16.6	3.1	19.6	15.9	12.7	24.5	9.5	14.9	7.1	9.4	15.1	25.4	8.1	28.0	5.5	11.7	2.4	1.2	
	ひとり暮らし	49.2	301	11.6	15.9	8.3	36.2	18.6	4.3	25.2	12.3	12.3	30.2	10.6	12.6	7.3	8.0	16.6	27.6	11.0	17.3	6.6	11.3	1.0	0.7	
	夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上	39.4	436	10.3	18.6	6.2	24.5	13.8	2.8	12.8	21.3	14.2	22.7	7.8	20.9	11.2	8.5	12.6	25.0	7.6	28.7	4.6	11.0	2.1	1.6	
	夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上	34.6	26	3.8	3.8	7.7	26.9	7.7	3.8	3.8	30.8	15.4	11.5	11.5	11.5	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0	23.1	3.8	7.7	3.8	0.0	
	子や孫など同居	44.5	686	11.8	17.5	4.1	22.3	17.3	3.1	22.0	14.0	12.2	22.7	9.9	12.2	4.1	10.1	15.7	24.3	7.7	32.5	5.2	12.1	3.2	1.3	
	前掲(1~4)以外で全員が65歳以上	45.8	24	12.5	25.0	4.2	16.7	8.3	0.0	25.0	20.8	4.2	25.0	16.7	25.0	12.5	20.8	29.2	33.3	8.3	33.3	8.3	8.3	4.2	0.0	
	その他	34.9	43	11.6	23.3	4.7	23.3	25.6	2.3	18.6	4.7	11.6	34.9	7.0	9.3	9.3	9.3	16.3	30.2	2.3	30.2	9.3	18.6	2.3	0.0	

(無回答n=9は非表示)

特養申込者の受療状況については、「医療処置は受けていない」が51.1%と最も多くなっている。世帯状況別では、夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上で「たんの吸引」(9.2%)、「胃ろう」(8.2%)、「じょくそうの処置」(4.8%)となっている。

図表3(4)-2 受療状況(複数回答、特養申込者・問13)

【世帯状況別】

	TOTAL (n=1373)	世帯状況別(無回答n=19非表示)					
		ひとり暮らし (n=310)	夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上 (n=294)	夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上 (n=12)	子や孫など同居 (n=614)	前掲(1~4)以外で全員が65歳以上 (n=37)	その他 (n=87)
胃ろう	5.7	6.5	8.2	8.3	5.0	0.0	
たんの吸引	5.2	3.5	9.2	8.3	4.9	0.0	
じょくそうの処置	3.9	3.2	4.8	8.3	4.4	0.0	
バルーンカテーテル留置	3.7	2.9	5.1	0.0	3.4	5.4	
インシュリン	3.1	1.3	3.7	8.3	3.6	2.7	
ペースメーカー	1.7	1.9	0.3	0.0	2.0	2.7	
鼻腔(経管栄養)	1.2	1.0	1.4	16.7	1.0	0.0	
在宅酸素	1.1	0.0	2.0	0.0	1.3	0.0	
ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	1.0	0.6	0.7	0.0	1.1	2.7	
透析	0.8	1.3	0.3	0.0	0.8	0.0	
口腔(経管栄養)	0.4	0.0	0.7	0.0	0.5	0.0	
IVH(中心静脈栄養)	0.3	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	
食道ろう	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	2.7	
気管切開	0.2	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	
腸ろう	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	
その他	14.7	14.5	17.0	0.0	13.5	16.2	
医療処置は受けていない	51.1	54.2	42.9	50.0	53.4	51.4	
無回答	13.8	14.2	13.6	8.3	13.2	16.2	